

Vine

「地域の中核、世界の人材」
UNIVERSITY OF YAMANASHI

山梨大学広報
ヴァイン

2018
vol.33
July



【特集1】山梨大学のキャリア教育と進路支援

～職業観を養成し、社会で働く意義を学ぶ～

【特集2】スポーツ・芸術・地域活動で活躍する梨大生たち

【人物発掘】秋山麻実教授 大学院総合研究部教育学域教育学系(教育支援科学講座)

【ゼミ紹介】医学部内科学講座第3教室

【ぴっくあっぷレッスン】全学共通教育科目 ポピュラー音楽から見るアメリカの歴史と社会

【クローズアップぴ〜ぶる】塚本敬太(生命環境学部生命工学科4年)/山下莉穂(工学部先端材料理工学科4年)

【サークル紹介】学生フォーミュラ部/ラグビー部・愛好会/医学部ゴルフ部/医学部美術部

山梨大学のキャリア教育と進路支援

～職業観を養成し、社会で働く意義を学ぶ～



近年の景気回復に伴い、大学卒業生の就職率が高水準となり、就職状況は企業側よりも学生が優位な「売り手市場」になっています。しかし一方で、約3人に1人が3年以内に離職してしまう傾向が、この20年以上続いています。「やりたい仕事ではなかった」「イメージと違った」というミスマッチが主な原因と言われています。

大学時代は、勉強・サークル・アルバイトなど充実した学生生活を送ると同時に、社会で働くための準備を行う期間でもあります。これまでの自分を振り返り、「やりたいこと」「自分の強み」「価値観」などを自己分析した上で、自分の進む道を決めます。就職活動を通して、人間性も磨かれ、「自分らしい生き方とは何か？」を考えるきっかけになります。



山梨大学の「キャリア教育」とは？

学生が社会人・職業人として自立するために必要な能力・態度・意欲を形成・向上させる教育を「キャリア教育」と言います。山梨大学では、1年生から「社会で働く意義」を考える講義や実践的なプログラムなどを取り入れた体系的なカリキュラムを展開し、学生が自らの特徴や適性を見出し、自分に合った将来設計ができるようサポートしています。

入学から卒業まで、一貫したキャリア教育と進路支援!

※以下は講義・講座の一例です。この他にも様々なプログラムを展開しています。

各分野で活躍する実績・経験豊富な社会人・教員による講義

職業意識を高め、自らの職業人生をグループワークで考える

自らのキャリアを念頭に、論文作文の書き方を訓練

働く女性の先輩から、体験談やキャリアパスを学ぶ

人間形成論

キャリア形成論

キャリア形成のための作文演習

理系女性のキャリア形成



1年

2年

3年

4年

卒業・社会人へ!

進路・就活スタートガイダンス

今やっておくべきこと、ホットな話題を提供

就活マナー講座

社会人の基本であるビジネスマナーを実践的に身に付ける

業界・企業研究会

業界や企業担当者から、最新の動向・情報などをチェック

教員採用対策試験講座

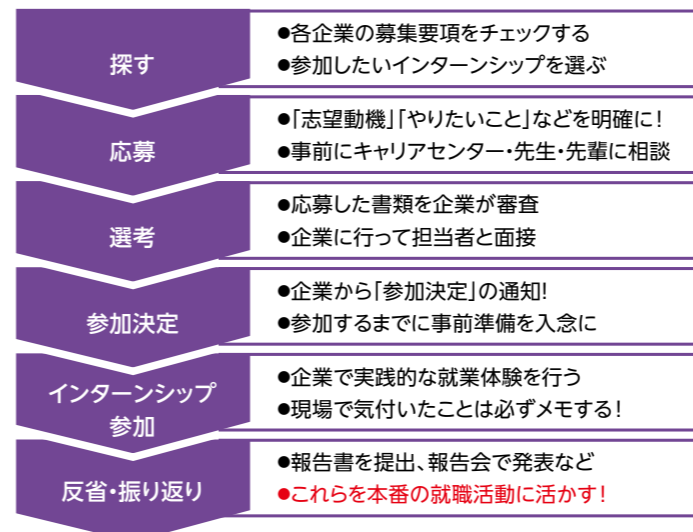
集団討論・模擬授業対策を教育委員会ごとにきめ細かく指導

インターンシップで職業観の育成!

～企業等で実習・研修的な就業体験～

山梨大学では、2・3・4年次、修士1年次が参加する、正課のインターンシップ(単位認定)を実施しています。この他、各企業等が独自に実施しているインターンシップもあります。詳しくは、キャリアセンターへご相談下さい。

※一般的な就業体験型のインターンシップの他、「課題応募型」「課題挑戦型」「共同研究型」など、企業ごとに様々な形式で実施されています。



体験談

大切なことは、
自ら行動すること!

生命環境学部
地域食物科学科3年
片岡 結女さん

食品系企業のインターンシップに参加しました。会社の担当者より、各部門での業務・役割から業界全体の動向まで丁寧に説明いただき、実際に現場で社員の皆さんと一緒に作業を行うなど、充実した貴重な時間を過ごせました。

インターンシップに参加する前には、様々な先生や先輩、キャリアセンターの皆さんよりアドバイスをいただきながら、自己分析や業界研究を入念に行いました。

山梨大学には、社会人として羽ばたくための様々なカリキュラムや支援体制が整っており、多くの皆さんがサポートしてくれます。まずは、自分で動くことが大事です。いくらでも輝けるチャンスはあります!

キャリアセンターの紹介

～将来の目標に向かって頑張る学生を全力サポート!～

学生が大学で身に付けた知識や経験を活かし、自分が本当にやりたい仕事に就き、充実した人生が送れるよう、一人ひとりの進路希望に応じ、様々な面からサポートしています。

就職支援では、就職情報の提供の他、企業・教員・公務員と進路に合わせたガイダンスや面接対策等の講座を開催。経験豊富なスタッフによるバックアップ体制も万全です!

※各学部には、コース・学科ごとに就職(進路)担当教員が配置されています。

キャンパス内の掲示板上にも、就職に関する情報を掲示

キャリアセンター

求人資料検索室

最新の求人票から過去の実績まで様々な資料があります

視聴覚学習室

就職活動に役立つビデオ学習もできます

学生談話コーナー

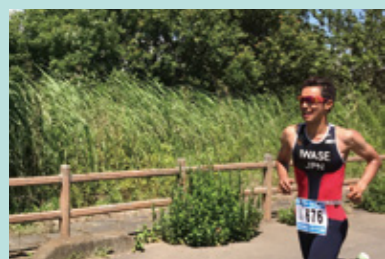
キャリアアドバイザーが、就職やキャリア発達を1対1で指導

玄関ホールには、アルバイトやインターンシップなどの情報を掲示

スポーツ・芸術・地域活動で活躍する梨大生たち



岩瀬 大周さん(工学部応用化学科1年)



2018全日本大学トライアスロン選抜大会(大学オープン男子)で優勝

小学生の時、トライアスロンが好きな父の影響で始めました。中学・高校時代も練習や大会出場を続け、今春には梨大生としての初レースに出場し、オープンカテゴリーで優勝しました。今後はインカレをはじめ、多くのエリートカテゴリーのレースや海外での大会で勝負することが目標です。学業との両立は大変ですが、一つのことに専念して極めることに挑戦する自分を誇りに思っています。

トライアスロン



Swim・Bike・Runの耐久戦



秋葉 祐里さん(大学院修士課程2年)

「華道」と聞くと、堅苦しい印象を受けるかもしれませんが、実際にやってみると、そんなことはなく、花の生命力に癒されながら自分自身と向き合い、静かな時間が流れます。私は華道の全国大会で2度受賞しましたが、自分の努力だけではなく、心から尊敬する良き師と出逢えたからだと思います。尊敬する人との出逢いを大切にしてください。きっと自分一人では見ることのできない世界が広がると思います。



池坊華道会主催の学生華道全国大会で、2度の優秀賞を受賞

心を込めて、心で生ける

華道

野澤 歩生さん(生命環境学部環境科学科2年)



後藤齋山梨県知事に優勝を報告(右手前)

兄の影響で空手を始めました。小学1年生から続けていますが、高校までは全く試合に勝てず、やめたいと何度も思いました。でも、その度に空手で学んだ「あきらめない心」を思い出し、苦しい練習を積み重ねました。まだまだ力不足ですが、大学での勉強やアルバイトと両立しながら、さらなる高みを目指したいです。

空手

第16回オープンーナメント国際親善レディース全日本空手道選手権大会(一般女子組手部門)で優勝



上野 隼さん(大学院修士課程2年)

音楽や芸術は、感性や才能の世界だと思われがちです。確かにそのような面もありますが、他の学問と同じ様に、勉強をすることで、その世界の片鱗を見ることはできると思います。私が作曲の門を叩いたのは学部3年生の時。専門的に勉強を始めるには遅すぎたらいのですが、結果として、一つの成果を得ることができました。学ぶことで感性は阻害されません。恐れずに、多様な視点から文化を見ることは、何事においても大切なことだと思います。



受賞作品「幽境に寄せる礼賛詩」楽譜と盾

国際芸術連盟主催「第22回東京国際室内楽作曲コンクール」で第2位(1位該当者無のため最高位入賞)

音楽・作曲

渡邊 宏太さん(教育学部芸術身体教育コース3年)



陸上競技

小さい頃から走ることが好きでしたが、「好きこそもの上手なれ!」の思いで、今日まで頑張ってきました。何事もその道を極めていくと、普通では見えない景色が見えてきます。どうしたらいいのか悩むことも多いですが、それを乗り越えた先には輝く未来が待っています。努力の甲斐あって、出場した大会で「優勝」という形で結果を出すことができました。

第66回関東甲信越大学体育大会陸上競技(男子トラック種目800m)で優勝

トラックのコーナーを駆け抜ける!(先頭)



大学生有志団体 桃隊 -momotie-

私たちは、農家さんのところへ農作業のお手伝いに行き、規格に合わない桃などの「ハネ品」をお譲りいただき、ジャムやスムージーに加工し、カフェやマルシェで販売しています。「農家さんの声」「桃の美味しさ」をお客さんに伝え、農家の思いと消費者をつなげたい一県外出身の有志学生が「山梨を盛り上げたい!」との思いで始めた活動は、今では山梨大・山梨県立大・山梨学院大・都留文科大までメンバーの輪を広げています。

収穫をお手伝い



ジャム作り

農家応援

岡 由佳子さん(医学部医学科4年)



第18回保健医療系学生レガッタ(団体総合)優勝
第60回東日本医科学生総合体育大会(団体総合)準優勝(中央)

先輩たちがボート競技に打ち込んでいる姿が「カッコいい!」と思い、私も始めました。試合で競ってる時、「この瞬間に賭けてみたい!」と湧き上がる覚悟と勇気。これを味わうためにどんなに辛い練習も乗り越えられます。ボートは仲間同士の信頼なくして競技出来ません。だからこそコミュニケーションを密にして信頼を築きます。出逢えて良かったと思える多くの仲間と囲まれ、本当に幸せです。

ボート競技



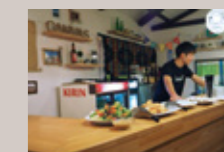
第60回東日本医科学生総合体育大会ボート競技(女子シングルスカル)で優勝



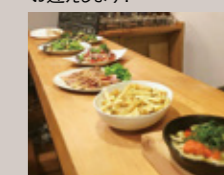
農園で作った野菜を使っています!

学生が運営するダイニングバー Kitchen bar CANVAS

「CANVAS」は県内大学生等で運営する飲食店です。「山梨から、食を通して、人を笑顔にしたい!」との思いから開店しました。自ら畑を借りて、食材から自分たちで作れ、メニューを考えています。開店に至るまでは、調理や経営ノウハウの習得、食品衛生責任者の資格取得、店内インテリアなど様々な準備を行いました。皆様のご来店を、学生一同、お待ちしております!
【所在地】山梨県甲府市相生1-3-16-2F
【営業時間】毎週水・木・金・土曜の17:00~24:00(LO.23:00)
【ご予約・お問い合わせ】TEL055-287-9963(営業時間のみ)
Twitter:@CanvasKofu



明るい店内で学生が
お迎えします!



豪華で美味しい料理の数々!

飲食店

大学院総合研究部教育学域教育学系教育支援科学講座
秋山麻実教授
 子どもの頃の意外な姿や、キャンパスでの思い出、
 研究や学生への熱い思いなど、
 チャーミングな笑顔を浮かべながら、
 朗らかに語ってくれた秋山麻実教授。
 華奢な体にパワー全開！
 今日も楽しく学生と向き合っています。



子どもの頃は、
 人づきあいが
 苦手でした

子どもの頃は、友達を作るのがあまり得意ではなく、活発でもありませんでした。幼稚園では、園庭でいろいろな子と遊ぶより、決まったお友達と室内でパズルやブロックで遊ぶ方が好きでしたし、家でも、コンパスを使って円を描いていくとお花みたいになるけど、これはいったいどこまで広がるんだろうとか、なるべく少ないブロックでより大きな形を作るにはどうしたらいいだろうかといったことを黙々と楽しんでいるような子でした。そうした遊びにつながるちょっとしたきっかけをくれるのは、大学で物理学の教鞭をとっていた父でした。また、3歳上の兄が物語を作ってお話してくれることもあり、物語や本はいつも身近にありました。

一方で、学校はあまり楽しい場所でした。小学校、中学校、高校と地元の公立校に進んだのですが、もともと人づきあいがあまり得意ではない上に、女の子たちの小さなグループにうまく溶け込むことができず、新学期が始まった途端、夏休みを待ち遠しく思っていました。

それがあるとき、「あなたがいつも一緒にいるのではなく、戻ってきたときにはいつでも迎えるよ」という距離感でいてくれる友人たちと出会い、「みんなと一緒になくていいんだ、少しぐらい変わっていてもいいんだ」

人物
 発掘



と思えるようになって、ようやく学校が楽しくなりましたね。

世界が広がり、多様な人と出会い、
 刺激も衝撃も受けた大学生活

高校卒業後は、東京大学理科Ⅱ類に進みました。鉱物や地層への興味はあったものの、文系分野にも関心があり、入学後、2年間の教養課程の間にもう一度考えて専攻を決めれば良いと考えていました。

大学では、さまざまな出会いがありました。例えば、サークルはESSに入ったのですが、そこには、将来は外務省に入省してグローバルに働きたいというような具体的な目標を持ち、そこに向かって歩み始めている友人も多くいました。後に宇宙飛行士になられた山崎直子さんも、その時の仲間の一人です。彼女はそこから宇宙飛行士になりたいと話し、しっかりと将来を見据えていながら、率直で可愛い一面もある人でした。

また、私自身は受験のための勉強しかし

てこなかったのに、周囲には、高校時代から哲学などの専門書を読み、内容について批判的に話せる人も少なからずいて、例えばミッシェル・フーコー（20世紀のフランスの哲学者）なんて名前が、何気ない会話の中に出てきたりする。フーコーと言えば振り子（19世紀のフランスの物理学者レオン・フーコー）を思い浮かべていた私は、何かを勉強しなければと思い、知っている名前を頼りに、やみくもにルソーやロック、カント、ショーペンハウエルといった哲学書に挑戦しました。大学の1～2年の頃は、授業は多いけれど、研究や論文作成の時間は必要ないので、時間的に余裕があったんですね。その時期に読んだことのすべてが記憶に残っているわけではありませんが、理解できないものを読み解き、比較や思考、対話を通して相対化するという、学問に向かう構えができた。それはとても良かったと思います。

大学という新しい世界に飛び込んで、さ

まざまな出会いや学びを経験できた教養課程の2年間は、私にとって、とても豊かな時間でした。その中で、より人に近い領域での学びを志向するようになって、3年進級時には文転して、教育学を専攻しました。

文献を紐解き、拓くことで見えてくる
 新たな事実や思い
 それを未来へとつなげていけることに、
 大きな喜びを感じます

現在、大きく2つの分野に関して研究を進めています。一つは、「幼児教育」。特に、地域の保育者が組織の垣根を越えて、保育実践を検討しながら、保育や幼児教育の文化をともに作っていくプロセスに関心があり、実際に保育現場の方々との勉強会なども行っています。また、学生にも、仲



間と一緒に教育について学び続けていける教員や保育者になってほしいと願っており、担当する授業にもそうしたエッセンスを取り入れています。

もう一つは「西洋教育史」で、17世紀から19世紀にかけてのイギリスの家庭教育を舞台に、「子どもに生や死をどのように伝えてきたのか」をテーマに研究しています。

歴史学の研究は、何が書かれているかわからない古い文献を紐解き、拓いて行く作業です。なので、まずは一つ一つの解明から入るのですが、何かのきっかけで、それまで個々に存在していたものに何らかのつながりが見えてきたり、異なる意味や書き手の秘めた思いが見えてきたりする。そういう、掘って行って何かがつながっていく感覚、見えなかったものが見えてくる感覚というのは、歴史学の醍醐味であり、おもしろさと感じます。

さらに、そこには今を生きる私たちにも通じることが多々あって、これから教育者になる

うという学生たちに伝えることもできる。それも、この仕事のやりがいであり、嬉しいところですね。

成長とは、新しい世界に出会って
 自分を塗り替えていくこと
 教育とは、それを見守り支えること

大学生になると、途端に世界が広がり、自由な時間も格段に増えます。学生には、大学で学ぶことも然ることながら、ボランティアやサークル活動、アルバイトなど、新しいことにもどんどん挑戦して、たくさんの経験をしてほしい。それは、生活を豊かにするということだと思っんですね。

また、教育者を目指す学生には、成長とは、新しい体験や嬉しい体験や、悲しい体験も含めて、新しい世界に出会って自分を



「自分も他者も充実して生きて行けるのか」
 どうやったらか
 どうやったらか
 「幸せに生きていけるのか」ということを、
 問い続け、探し続ける人間に
 成長してほしいと思っています。

塗り替えていくことであり、教育とは、「こうするんだよ」と答えを教えることではなく、その成長を見守ったり支えたりすることなのだとすることを、頭で理解するのではなく、ぜひ全身で味わってほしいと思っています。

目指したいのは「健康第一」

2015年から1年間、英国の大学に研究員として派遣いただきました。私自身の研究はもちろんですが、仕事は仕事としてきちんとやりながら、趣味に勤しんだり、お茶の時間を大切にしたりする現地の人々に触れ、共に過ごすなかで、『ストレスを解消するために〇〇をする』のではなく、自分の好きなことに時間を使うことで、健康に、幸せに暮らすことができるんだと実感した時間でもありました。人が健康であるということは、幸せに生きていくための基礎の基礎。「そこが守れなくなったら、逃げてもいいんだよ」という意味も含めて、巣立っていく学生にもこの言葉を贈っています。

- 【略歴】
 1970年 札幌市生まれ
 1993年 東京大学教育学部教育学科
 教育哲学教育史コース卒業
 2000年 東京大学大学院教育学研究科
 総合教育学専攻博士単位取得満期退学
 山梨大学講師
 2001年 山梨大学助教授
 2004年 山梨大学准教授
 2007年 山梨大学准教授
 2015～16年 ニューカッスル大学客員研究員
 2018年 山梨大学教授
- 【専門分野】
 幼児教育学/イギリス女性教育史/家庭教育史
- 【研究キーワード】
 保育者の協同的学び/専門性の向上/保育記録/ジェンダー/生と死の教育史
- 【研究テーマ】
 保育記録、振り返りと評価/保育者の学びあいと専門性の向上/女性の主体形成と教育・子育ての歴史/生と死の教育史



山崎直子さん(右)とは、サークルの同期。最初に小さなグループで英語劇をやったときに友人になり、スペースシャトルの打ち上げの時には見学させてもらいました。

医学部内科学講座第3教室

北村 健一郎 教授

生命の進化の過程と生活習慣病発症の統合的理解を目指して

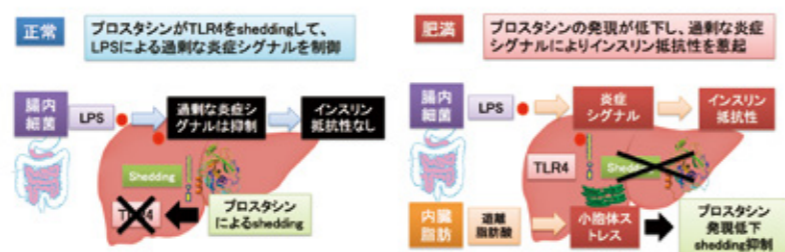


リサーチミーティング

私たち第3内科が担当する主な疾患には、高血圧や糖尿病などの生活習慣病があります。これらの疾患は、脳卒中や心筋梗塞などの原因となるため、国民の重大な健康課題として捉えられています。私たちは、これら生活習慣病の病態メカニズムを解明し、新たな治療薬開発へ応用することを目指して精力的に研究を進めています。

私の研究室のメインテーマの1つは、“タンパク分解酵素”です。消化管におけるタンパク質の消化吸收を思い浮かべる方が多いかと思いますが、そのみならず、タンパク質の廃棄とリサイクル、血液凝固反応、ホルモンの産生、生体防御反応、活性の調節など生体内の多くの作用が、細胞内外のタンパク分解酵素の働きによって制御されています。平成28年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅良典博士が解明した「オートファジー」も、タンパク分解を伴う生体の重要な機能です。

生命は塩分の多い海から少ない陸へと、生活環境を劇的に変化させながら進化してきました。また、進化の過程は飢餓との戦いでもありました。生命は塩分欠乏と飢餓から身を守るために、塩分を失わないように腎臓の尿細管を発達させ、少ない栄養を効率よく身体に取り込んで貯蔵するように進化しました。ところが、人間は近年、急速に食塩や脂肪を過剰に摂取するように、人間が進化の過程で獲得した儉約機能



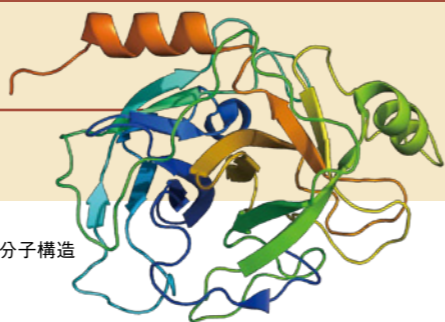
プロスタジンによるエネルギー代謝の制御



研究室のメンバー(基礎研究チーム) ※前列中央:北村教授

がかえって災いし、高血圧や糖尿病を発症してしまうという皮肉な結果を生んでいます。食事から摂取された塩分(ナトリウム)は、腎臓の尿細管によって調節を受けて、生体の恒常性を維持しています。私は、タンパク分解酵素の一種である「プロスタジン」が、ナトリウムチャネルの活性を調節することで、生体のナトリウム恒常性の維持に重要な働きをしていることを発見しました。また、このプロスタジンが、肝臓における自然免疫反応を調節して、生体のエネルギー恒常性(糖代謝)も維持していることを明らかにしました。現在は、これらの知見を新しい高血圧治療薬や糖尿病治療薬の開発につなげるために、大学院生たちと研究を進めています。

このように私たちは、生命の進化の過程に思いを馳せながら、タンパク分解酵素の生体における作用の解明を通じて、国民の健康課題である生活習慣病の病態を統合的に理解し、新しい治療法の開発を夢見ています。学部は問いません。このような研究に興味のある学生や大学院生と楽しく研究に取り組みたいと思っていますので、ぜひ私の研究室に遊びに来て下さい。



プロスタジンの分子構造

ぴっく
あっぷ
レッスン
授業のヒトコマ

25

ポピュラー音楽から見る アメリカの歴史と社会

全学共通教育科目

ロックを体感して、アメリカを学ぶ! ~民族・国境・ジェンダーを乗り越えて~

平成29年度より開講された「ポピュラー音楽から見るアメリカの歴史と社会」、別名「ロック・ミュージックの社会学」。この授業の準備は何もありません! 五感をフルに動員して、ロックを体感することが何よりも大切! ロックを聴きながら、アメリカの歴史と社会について学んでいきます。

ロックの歴史は、アフリカ系アメリカ人の歴史でもあります。アフリカから奴隷としてアメリカに連れてこられた彼らは、日々の労働の辛さを語る術を持ち合わせませんでした。彼らは田畑で歌を口ずさみ、教会で賛美歌を歌い、歌うことで辛い日々を紛らわし、癒したのです。田畑で歌った「ワークソング」は「ブルース」となり、教会で歌った賛美歌は「スピリチュアル」(霊歌)、そして「ゴスペル」となり、そこに足踏みと手拍子が加わり、ロックの原型「リズム&ブルース」が出来上がりました。<白人>が物語るアメリカの歴史に対して、それを相対化する形で<黒人>が歌い続けていったこと。これこそが“ロックの歴史”なのです。

それではロックは、黒人による黒人のためだけのものだったのでしょうか? そうではありません。アメリカのミュージシャン“エルヴィス・プレスリー”が、人種・民族の壁を壊し、黒人ルーツのロックを普遍化したのです。エルヴィスなら、誰がやっついでよと、「良いものは良い」と言うはず!

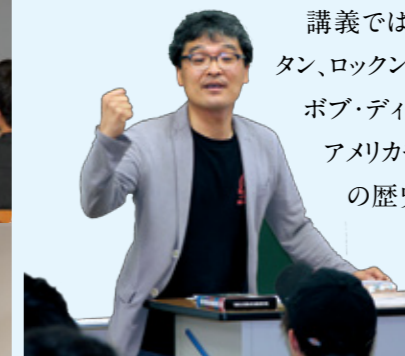
その後、この新手的音楽を、イギリスから「Cool!」と言ってコピーするバンドが出てきました。それが“ビートルズ”なのです。彼らは人種・民族・国境・ジェンダー(男と女)という壁を、いとも簡単に乗り越えてきました。ジェントルマンの国・イギリスからアメリカにやってきた彼らは、女の子のように髪を伸ばし、インタビューではケラケラ笑いながら答え、全く男らしくありません。彼らのステージを見た女の子は、おしとやかどころか、絶叫し髪を振り乱し、失神してしまう人もこうしてビートルズは男らしさ/女らしさの壁も、いとも簡単に飛び越えてしまったのです。

講義では、リズム&ブルース、カントリー&ウエスタン、ロックンロールに始まり、エルヴィス、ビートルズ、ポップ・デイトンを経由して、1970~1990年代のアメリカやイギリスのロックを聴きながら、アメリカの歴史、特に現代史を学びます。

さあ「Come On!」(by マイケル・ジャクソン)、みんなー、準備はいいですかー!?(by 私)



見て、聴いて、歌って、踊って、体感する!

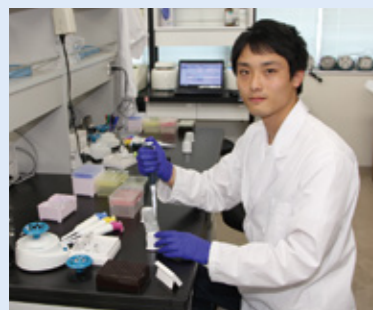


クリスマスにはサンタの格好に扮して!



close-up people

研究活動やサークル、プライベートにと輝く山梨大生を紹介します。



新規の環状ペプチドを探索中!

**勉強にも柔道にも励む“文武両道”!
生き物や自然を探求する研究者を目指します!**

生命環境学部生命工学科4年

塚本 敬太 (静岡県出身) **TSUKAMOTO Keita**

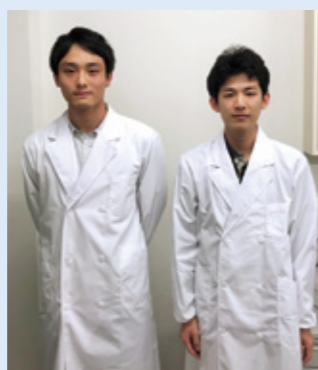
小さい頃から生き物や自然が大好きでした。目では見られない小さな微生物や細胞を顕微鏡で観察した時に感動を覚え、研究者という職業に強い魅力を感じました。高校時代に、生物の授業でバイオサイエンスに興味を持ち、生命工学分野の知識と技術を学べる山梨大学に入学したい、と思いました。

**山梨大学に
入学したきっかけは?**

勉強、頑張ってますか?



実験の様子(左)



研究室の友達と(左)

1・2年次では、専門科目以外にも一般教養科目を学び、自分の専門分野以外の知識も得ることができます。3年次からは実験が中心となり、生命工学の基礎実験手法を学べ、1・2年次で学んだ基礎知識と繋がります。

現在は川上隆史助教の研究室に所属し、自己免疫疾患治療薬の開発を目指した新規環状ペプチドの探索を行っています。実験はなかなかうまくいかないことも多く大変ですが、深い知識や技術を学びながら、とても充実した毎日を送っています。

将来は大学院へ進学し、研究者を目指してさらに学びを深めていきたいと思います。

部活動はいかがですか?

柔道部に所属しています。練習は辛いこともありますが、良い先輩や同期、後輩に恵まれてとても居心地のいい部活です。柔道を通じて礼儀作法を学びながら肉体や精神力、忍耐力を鍛え、楽しく活動できます。



柔道部の試合で(後列左2番目)

柔道部では4年に一度フランス遠征があります。私は、1週間ほど現地の柔道家と交流して、ホームステイをしながらパリ市街を観光しました。この経験は自分の中でかけがえのないものとなり、普段当たり前のように過ごしている便利な社会について改めて考えるきっかけとなりました。

「せっかく山梨に来たのだから、山梨にちなんだアルバイトがしたいな…」と思い、果樹園でアルバイトを始めました。月ごとにサクランボ、桃、ブドウ…と品種を変えながら、育成・収穫など、ここでしかできないことを数多く学んでいます。また、山梨の特産品を身近に感じることができるということも大きな利点です。外での作業なので楽なことばかりではありませんが、自然に触れながら汗を流すことはとても気持ちがいいです。

**アルバイトは何か
やっていますか?**

受験生に一言!

受験が近づくにつれて、焦りや不安を感じるが多くなると思います。しかし、壁は乗り越えられる人の前にしか現れないはず。その壁を乗り越えた先には最高のキャンパスライフが待っています。自分の納得がいくまで、また自分の100%が出し切れるよう、頑張ってください。応援しています。

**地道な努力を重ねる、しなやかな“リケジョ”!
人を笑顔にさせる社会人を目指します!**

工学部先端材料理工学科4年

山下 莉穂 (福井県出身) **YAMASHITA Riho**

**山梨大学に
入学したきっかけは?**

高校時代から「ものづくり」、特に医療機器に興味がありました。生命を救う医療には最新鋭の医療機器が欠かせず、より良い材料を探求しながら新しい技術を生み出すことに携わりたいという思いがありました。

受験は学校推薦で、高校の先生の薦めもあり、山梨大学を選びました。出身の福井県大野市から初めて山梨に来て、最初は不安でしたが、今ではとても良かったと思っています。



レーザー加工のビーム最適化に関する実験

**「リケジョ」なんです。
勉強はどうですか?**



研究室で勉強中!

1年次は一般教養や専門科目の基礎を学び、実験にも着手します。2年次からはより専門的に学び、3年次後期から研究室に配属されます。

先端材料理工学科では、数学・物理・化学など多くの基礎科目を学べる他、研究室に配属後も幅広い分野の中から選択して、さらに掘り下げます。理解が難しい科目もありましたが、研究は受験時から今まで学んだことが全ての基礎になるので、成長のためと思い、一生懸命勉強

を頑張りました。おかげで物理学や化学の実験は楽しかったですね。

現在は張本鉄雄教授の研究室に所属しており、レーザー加工の利便性を向上させるための研究をしています。研究は手探りな部分が多いので根気が要りますが、1歩ずつ研究が進み、課題解決につながるヒントを見出すことに面白さを感じています。

**趣味・アルバイトなど、
学生生活はいかがですか?**

アルバイトは飲食店や結婚式場のスタッフ、サッカーチーム・ヴァンフォーレ甲府のイベントスタッフ、スマートフォンの修理会社など幅広くやりました。

もともと人見知りで、初対面の人と話す緊張してしまい、入学当初は「友達ができるのかな…」と不安でしたが、山梨大学には気さくで楽しい仲間が多く、次第に打ち解けて、自然と友達になりました。友達と沖縄やディズニーランドなど様々な場所へ遊びに行けたことはとても良い思い出です。

沖縄の海で、遊んでいます!(左)

制作体験で作ったキーホルダー



沖縄の観光地にて(中央)

趣味は、ディズニー映画を英語で鑑賞することです。英語は少し苦手でしたが、このおかげでリスニング能力が向上したと思います。

受験生に一言!

受験を控え、不安に感じていると思います。しかし、努力は少しずつ形となり、頑張った成果は、自信に繋がります。自分を信じて、自分のペースで頑張ってください。受験を無事に終え、大学生活を満喫できる日が来ることを祈っています。

Formula Club ◎学生フォーミュラ部

みんなで製作したフォーミュラカーが、サーキットを駆け抜ける爽快感と充実感!

こんにちは!山梨大学学生フォーミュラ部です。

「フォーミュラ」とは「車両規則で定められた規格」を意味し、自動車競走専用に製造された規格に沿ったレーシングカーを「フォーミュラカー」と呼びます。

学生によるフォーミュラ競技は1980年代のアメリカが発祥。「教室の講義だけでは優

秀なエンジニアは育たない」という強い思いから始まり、現在では世界各国で行われ、「教育プログラム」に組み込む学校も多くあります。

日本では2003年より「全日本学生フォーミュラ大会」が毎年秋に開催されています。実は私たちの部が発足したのは、2006年に大会ポスターを見た先輩3名が「ぜひ出場した



様々な企業の方に支えられています

い!」と一念発起したのがきっかけ。現在、約20名の部員が毎年1台のフォーミュラカーを、先輩からのアドバイスもいただき、自らの手で設計・製作・走行しています。

この大会では、製作したフォーミュラカーの速さを競うだけでなく、完成までのコストに係るレポートや、企業への製造委託を仮定して行うプレゼンテーション資料など、車の設計・製作・運転・技術力など全てが競技対象です。

部では知識や製作技術だけでなく、チームマネジメントや広報活動など幅広く様々な経験ができます。また、部活動は多くのスポンサーからのご支援に支えられており、広く社会と繋がって活動できます!



部員みんなで頑張ってます!



颯爽と駆け抜けるフォーミュラカー

Twitter:@YFRjsae



白熱するOB戦。われら青春!

こんにちは!山梨大学ラグビー部・愛好会です!

メンバーは、甲府キャンパスのラグビー好きの学生や教員、卒業後もラグビーが大好きなOBの方々です。

「ラグビー部」と聞くと、厳しい練習や上下関係などを想像されるかもしれませんが、私たちは純粋にラグビーが好きメンバーが集まった同好会のような部活です。

部の目的はラグビーを楽しむことが第一!メンバーと相談しながら練習内容や日程などを決めていきます。練習は毎週水曜18時&土曜10時の他、授業後や休日午前にも行っています。練習も、タックルなどのコンタクト

プレーのない「タッチフット」や、腰に付けた飾りひもを取って攻守交代し合う「タグラグビー」など、初心者にも配慮した様々な方法でプレーしています。

またUTY招待ラグビーの観戦、県内高校との合同練習や社会人チームへの参加、OB

戦・OB懇親会も行っており、幅広くラグビーを楽しんでいます。

ラグビーは、どんな人でも活躍できるユニークで本当に面白いスポーツだと思います。もちろん、女性も楽しめます!ラグビーをやったことのない人、軽く運動したい人、男女問わず大歓迎です!興味を持った方、グラウンドで待っています!



普段の練習の様子。誰でも気軽に楽しめます!



ボールをつなぎ、トライを決める!

Facebook : <https://www.facebook.com/uy.rugby.love/>
E-mail : uy.rugby.love@gmail.com

Golf Club Medical Campus ◎医学部ゴルフ部

自然を楽しみながらプレイできる醍醐味! 集中力を鍛え、達成感を味わえます!

こんにちは!山梨大学医学部ゴルフ部です!

以前は、ゴルフという中年の方がやるイメージでしたが、最近では松山英樹選手や鈴木愛選手など、20代の若い選手が世界を舞台に大活躍しています!ゴルフの良いところは、世代や立場を越えた人々が、同じルールのもとで勝負できることです。



新入生歓迎会で、親睦を深める

私たちは部員の自主性を大事にしています。現在50名以上在籍していますが、それぞれ自分のペースで練習に励んでいます。活動は週3回、アイリスゴルフクラブ(甲府市)での打ちっ放し練習の他、定期的にゴルフ場でラウンドしています。部主催のコンペでは、普段忙しい先生方も参加されるので、

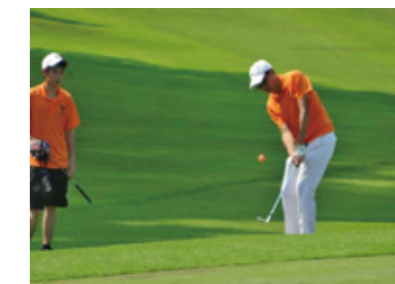
知り合いの輪が広がります。一緒にコースを回る仲間を気軽に見つけられるのも、ゴルフ部のメリットです。

部には、2年生以上から途中入部する学生も多く、他の部活を引退した人、新たなスポーツに挑戦したい人、「将来ゴルフを必要とするかも…」と考え

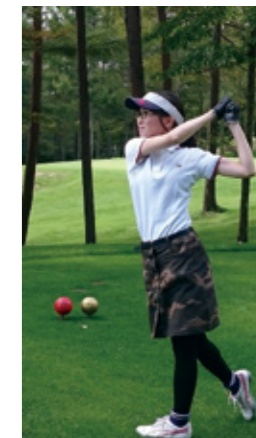
て入部する人など、様々なバックグラウンドを持った人が集まる部です。

学部を問わず部員を募集していますので、興味のある方はご連絡お待ちしております!

Twitter:@golf_y_m



グリーンへのアプローチ!



ナイスショット!

Art Club Medical Campus ◎医学部美術部

納得いくまで、とことん制作に熱中! スキルとセンスを磨く個性派部活です!

こんにちは!山梨大学医学部美術部です。現在19名が活動しています。

美術部のテーマは「個々で作品を作って精進する!」。自分で作品を作ることがメインなので、活動は不定期、LINEで日程調整して集まります。無理なく、スケジュールに柔軟な部なので、殆どの学生は、バドミントン・卓球・弓道等と兼部しています。

美術部には個性的な作品を作る多くの学生が集います。レゴを使ったり、ぬいぐるみを編んだり、油絵で多彩に絵の具を使ったり...etc.作品は、年に1回学園祭で展示し、ご来場された方にご鑑賞いただけます。



作品を制作中!



大学祭で似顔絵描きます!

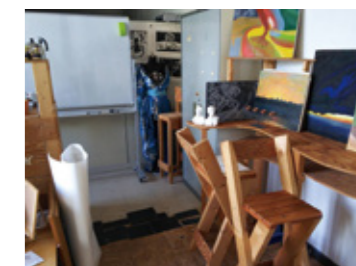
また「美術を鑑賞する」活動も重要で、春の新入生歓迎会や「芸術の秋」など、定期的に県内外の美術館、美術系大学の学園祭、デザインフェスタなどへ出掛けています。



美術館見学(山梨県立美術館屋外のオブジェ)

1つの作品を仕上げた時の達成感は爽快感でとても嬉しいものです。皆さんも私たちと一緒に作品を作ってみませんか?

Twitter:@VIBU_Yamanashi



部室の様子

NEWS & TOPICS 1

本学ワイン科学研究センター×甲府市
スパークリングワイン開発を共同研究・販売!



セレモニーで乾杯! (中央:樋口雄一甲府市長、左:柳田教授)

本学ワイン科学研究センターでは、平成28年度より、甲府市内で採取された酵母や栽培されたブドウを使用した「スパークリングワイン」の開発を、甲府開府500年に合わせ、甲府市と共同で行ってきました。



ポスター「甲府Sparkling
(スパークリング)甲州2017」

スパークリングワインは、平成30年3月3日(土)に開催された甲府開府300日前イベントの「スパークリングワイン完成披露セレモニー」でお披露目され、共同開発に携わった柳田藤寿同センター教授が出席しました。

NEWS & TOPICS 3

日本初! 4大学連携で
山岳保全のエキスパートを養成!
「山岳科学特別教育プログラム」が
スタートしました



4大学合同講義。
学生の交流も深まります。

本学では平成30年度より、筑波大学・信州大学・静岡大学と連携し、日本初の山岳科学を学ぶことに特化した大学院修士課程「山岳科学特別教育プログラム」を開設し、同プログラムを大学院生命環境学専攻地域環境マネジメントコース内に設置しました。4大学の強みを活かし、山岳環境の保全や管理の分野で活躍できる人材を育成します。(プログラム本学代表:岩田智也生命環境学部准教授)

本プログラムでは、合同の集中講義の他、4大学・8拠点を双方向通信で繋ぐライブ講義を実施しています。この画期的な遠隔講義システムの導入により、キャンパスに居ながら、他大学の講義を受講できます。本学教員による「環境資源経済学」「大気環境動態解析特論」などの講義も他大学に提供しています。

NEWS & TOPICS 2

大村博士に続け!優れた学部学生に対し、
給付型の「大村智記念基金奨学金」を授与



奨学金を授与した学生18名と島田学長

本学では、ノーベル医学・生理学賞を受賞された本学卒業生・大村 智 特別栄誉博士の「若者の学業を奨励したい」との強いご意向を踏まえ創設された「山梨大学大村智記念基金」を活用し、学部学生に対し、返還不要の奨学金を、平成28年度から大学独自で給付しています。

平成30年5月24日(木)に開催された授与式では、今年度給付する医学部医学科5年生3名と他学部・学科1年生15名の計18名に対し、島田眞路学長が目録と記念色紙を手渡し、「第2の大村博士を目指して頑張ってください」と激励しました。

NEWS & TOPICS 4

観光地域づくりの新たなプロジェクト推進!
鳴沢村との包括連携協定を締結



(右)小林優村長 (左)島田眞路学長

本学は、平成30年4月11日(水)、鳴沢村と包括的連携協定を締結しました。

本学では、フィールド実習を中心に地域課題を解決する能力を身に付ける人材育成プログラムを展開しており、同村と連携して、農村資源を活かした観光地域づくりプランを提案し、平成29年11月には、県町村会(会長:小林優鳴沢村長)と共催で、アグリツーリズムの実践についてシンポジウムを開催しています。

本協定締結に基づいて、観光地域づくりに向けた産学官協同プロジェクトを実施し、新たな観光資源の発掘や地域特産の農産物の活用を推進し、6次産業化を目指します。

また、同村職員が本学の観光関連の授業・ゼミに参加して村の観光施策に活かす取り組みを行います。

NEWS & TOPICS 5

相互連携で災害時に迅速に対応!
DPAT派遣に関する協定を締結

平成30年3月13日(火)、山梨県・本学・県精神科病院協会・県立北病院で「山梨県災害派遣精神医療チーム(DPAT)の派遣に関する協定」を締結しました。

DPATとは、精神科医・看護師・業務調整員などで構成され、災害等が発生した現場で精神医療・精神保健活動を行うチームを指します。

平成29年4月の熊本地震では、被災者に対する統一的・継続的な心のケアに課題があり、県は同年12月「山梨県災害時心のケアマニュアル」を策定しました。これを踏まえ締結された本協定に基づいて、災害発生時に県からDPAT派遣の要請を受けた本学など諸機関職員が、被災地で精神医療を提供することにより、より柔軟かつ確かな精神医療活動が可能となります。



左より藤井康男県立北病院院長、島田眞路学長、後藤齋県知事、久保田正春県精神科病院協会会長

NEWS & TOPICS 6

本学医学部附属病院より常勤産科医派遣
都留市立病院が約11年ぶりに分娩再開へ!



左より平田修司本学医学部産婦人科学講座教授、後藤齋県知事、堀内富久都留市長

山梨県内の産科医不足により、都留市立病院では平成20年4月より分娩を休止していましたが、この度、本学医学部附属病院より常勤産科医3名を派遣することによって、出産の受入態勢が整ったことから、約11年ぶりに分娩を再開することが可能となりました。(平成30年5月31日(木)山梨県・都留市・本学の共同記者会見で発表)

これまで本学では、県からの寄附講座を開設し、産科医や助産師養成のための教育・研究を行い、また県も、本学で産科医の専門課程に進む研修医へ奨励金を交付するなど、両者が協力して取り組んでまいりました。今後とも安心安全な産科医療体制構築のため、産科医や助産師の養成に取り組めます。

NEWS & TOPICS 7

手術支援ロボット「ダヴィンチ」適用拡大! 新技術を活かした先進医療を実施!

写真①
手術支援ロボット
「ダヴィンチSi®」
従来の手術に、最先端のIT
技術や光学技術が加わり、
より高い精度の手術が可能に!



本学医学部附属病院では平成25年に手術支援ロボット「ダヴィンチSi®」(写真①)を導入し、山梨県内で第1例となるロボット支援腹腔鏡下前立腺がん根治術を実施しました。高解像度の3D画像を見ながら、手振れ防止機能と自由に動く関節機能を併せ持った手術器具を用いることで、これまで以上に精密な手術が実施できます(写真②)。



写真②
安全性を第一に、精密な手術
を実施
今後もロボット支援手術を普
及させ、患者さんの術後成績
と生活の質の更なる向上を
目指します!

これまで前立腺と腎臓に限定されていた手術への保険適用は、平成30年4月より、胃の切除手術など新たに12の術式にまで広がりました。本院は、「胃がん」に関する厚生労働省の定めた施設基準や術者基準をクリアしており、保険適用下で安全にロボット胃切除が提供できる山梨県唯一の病院として認められ、4月より運用を開始しました。今後ともロボット支援手術を更に活用し、最新の医療を提供してまいります。

山梨大学・読売新聞社共催

「連続市民講座2018」

知る喜び ～ひと・くらし・けんこう～

【日時・場所】

開催日：スケジュール一覧表参照

会場：山梨大学甲府東キャンパス A2-21教室

定員：330人

時間：午後1:30～3:00まで(午後1:00開場)

受講料：無料

【お問い合わせ先】

〒400-8510 甲府市武田4-4-37

山梨大学教務課連続市民講座担当

電話:055-220-8043 FAX:055-220-8796

E-mail:koukai-kouza@yamanashi.ac.jp

*詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://www.yamanashi.ac.jp/social/378>

山梨大学では、読売新聞甲府支局と共催し、「知る喜び～ひと・くらし・けんこう～」と題した連続市民講座を開催しています。

聴講は無料です。平成30年4月～平成31年3月の原則毎月(8月・11月・1月を除く)第3土曜日に、本学の教員が登壇し、専門の分野を図解などを用いて分かりやすく解説します。

【スケジュール一覧表】

	開催日	講義題目	講師
第5回	平成30年 9月15日(土)	血液検査と血小板の意外な役割を知る ～日常行われる臨床検査と最先端の血小板研究～	井上克枝 教授 (医学部臨床検査 医学講座)
第6回	平成30年 10月20日(土)	大災害から命を守るちえ、すべ、しくみ ～被災地の現状と県内の地区防災の取組み～	鈴木猛康 教授 (工学部 土木環境工学科)
第7回	平成30年 12月15日(土)	山梨県の救急医療 ～現在から未来まで～	松田兼一 教授 (医学部救急集中治療 医学講座)
第8回	平成31年 2月16日(土)	藤原道長の素顔 ～「この世をば」の歌から千年～	池田尚隆 教授 (教育学部 言語教育コース)
第9回	平成31年 3月16日(土)	栄養と健康 ～巷にあふれる栄養情報の活用方法～	望月和樹 教授 (生命環境学部 地域食物科学科)

※平成30年7月時点での情報です。

平成31年度 入試日程(学部)

以下の日程は、平成30年4月1日現在の予定です。詳細については、必ず募集要項で確認して下さい。

※入試に関する情報 <http://www.yamanashi.ac.jp/admission>

【全学部共通】

試験種別	出願期間	試験日	合格者発表
推薦入試	平成30年 11月12日(月)～11月20日(火)	平成30年 12月1日(土)	平成30年 12月10日(月)
	平成30年 12月12日(水)～12月18日(火) ※医学部医学科	平成31年 2月12日(火) ※医学部医学科	平成31年 2月13日(水) ※医学部医学科
一般入試 (前期日程)	平成31年 1月28日(月)～2月6日(水)	平成31年 2月25日(月) ※医学部医学科 は実施なし	平成31年 3月6日(水)
一般入試 (後期日程)	平成31年 1月28日(月)～2月6日(水)	平成31年 3月12日(火)	平成31年 3月20日(水)
		平成31年 3月14日(木) ※医学部看護学科	

【教育学部】

試験種別	出願期間	試験日	合格者発表
3年次編入学	平成30年 11月16日(金)～11月22日(木)	平成30年 11月30日(金)	平成30年 12月6日(木)
私費外国人 留学生入試	平成31年 1月4日(金)～1月10日(木)	平成31年 1月25日(金)	平成31年 2月7日(木)

【工学部】

3年次編入学	平成30年 5月21日(月)～5月28日(月)	平成30年 6月9日(土)	平成30年 6月15日(金)
AO入試 (応用化学科)	平成30年 9月10日(月)～9月18日(火)	平成30年 9月29日(土)	平成30年 10月5日(金)
私費外国人 留学生入試	平成31年 1月4日(金)～1月10日(木)	平成31年 2月2日(土)	平成31年 2月8日(金)

【生命環境学部】

私費外国人 留学生入試	平成31年 1月4日(金)～1月10日(木)	平成31年 2月2日(土)	平成31年 2月8日(金)
----------------	---------------------------	------------------	------------------

今号の表紙

甲府西キャンパス
大学本部棟 1階 キャリアセンター



就職活動中の学生のみならず、1・2年生も積極的に活用しています。センターの前にはテラスも設けられ、学生同士の情報交換など憩いの場となっています。

編集後記

山梨県含む関東甲信地方が観測史上最速で梅雨明けしたと気象庁が宣言した今夏、「山梨大学広報Vine33号」を皆様へお届けします。

有効求人倍率も高水準となり、学生にとって職業選択の幅が広がっています。しかし以前好景気だった頃の「大量採用」とは違い、企業側も慎重かつ多面的に学生を採用しています。また学生の意識も、「プライドの持てる仕事」「夢のため」よりも、「人のためになる仕事」「社会貢献」を求める傾向へと変わりつつあります。

大学は単なる「就職予備校」ではなく、学生の様々な能力を養成する教育機関。日々刻々と動く社会情勢をしっかりと捉え、学生一人ひとりに最適な環境とサポートを提供するという使命—社会へ羽ばたく学生たちが、「山梨大学で学んで良かった」と思えるような大学づくりに、これからも尽力します。
(広報企画室)

山梨大学広報 **ヴァイン** vol.33
July 2018

発行者:山梨大学総務部総務課広報企画室

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務課広報企画室

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8799

E-mail:koho@yamanashi.ac.jp

山梨大学ホームページ

<http://www.yamanashi.ac.jp/>



山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。